

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

2月号/2015年2月1日発行

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

■ 1月22日(木)
18:00~

1月通常例会

会場/いわき建設会館
5階

講 師 福島大学准教授 工学博士 石川 友保氏
テーマ「小名浜港コンテナ貿易のあるべき姿について」



■ 寺主代表幹事 挨拶

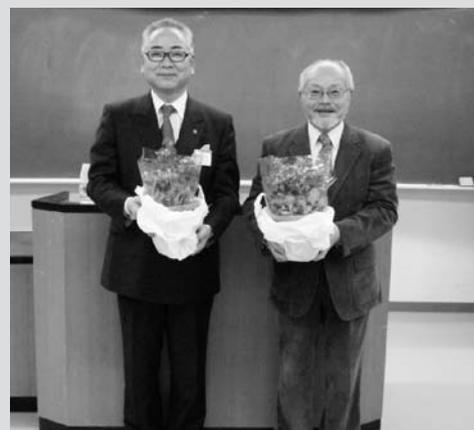
こんばんは。本日は足元の悪い中、お越し下さいまして、ありがとうございます。

本日は、昨年より大和田実常任幹事にお骨折りを頂きまして、福島大学准教授石川友保氏をお迎えいたしました。資料に基づき「小名浜港のあるべき姿について」皆さんと共に勉強していきたいと思っております。

いわき経済同友会は、沖縄、大連、シンガポールの港の視察、また私たちの先輩方は東北、関東、関西等の港の見学し勉強を重ねて参りました。

震災後4年となりますが、港の重要性とアクアマリン、ら・ら・ミュウ、来年オープン予定のイオンモールが、いわきの経済に及ぼす影響など、今後の事業展開のご意見等も併せてお聞きしたいと思います。よろしく願います。

◆ 誕生月プレゼント メラコニアが贈られました



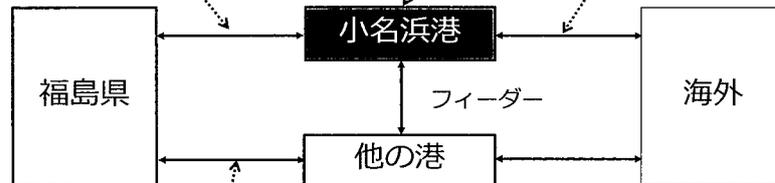
左から 寺主君男代表幹事(1月11日生)
国府田靖夫さん(1月23日生)

テーマ「小名浜港コンテナ貿易のあるべき姿について」

講師 福島大学准教授 工学博士 石川 友保氏

小名浜港の物流に関わる様々な課題

- ① 道路(大型車が走行可能か?)
- ② 鉄道(引き込み線は利用できるか?)
- ③ 拠点(インランド・デポは利用しているか?)



- ④ 優位性(貨物が他の港に流れていないか?) ← 物の流れ

- ⑤ 運用(コンテナが運用できる設備はあるか?)
- ⑥ 時間(通関や海上輸送を含めた総所要時間は?)
- ⑦ 制度(どのような制度があるのか?)
- ⑧ 政策(国と地元の考えが一致しているか?)
- ⑨ 利便性(コンテナ定期航路の便数が多いか?)

① 道路(大型車が走行可能か?)

コンテナなどの大型の貨物を運搬するためには高規格の道路が必要。道路には、十分な幅員、高さ、カーブ、耐荷重が求められる。道路が混雑している場合、納期遅延となる可能性がある。

A. 国道49号の国際コンテナ通行支障区間は解消され、小名浜港へのアクセス道路についても問題は解消されている。

② 鉄道(引き込み線は利用できるか?)

陸上輸送手段には、自動車と鉄道がある。港湾への引き込み線が整備されている場合、積替え回数が減少し、時間短縮やコスト削減に資すると考えられる。

A. 従来より海上よりの鉄道による輸送は行なわれていなかった。

③ 拠点(インランド・デポは利用しているか?)

インランド・デポを導入することで、従来は個別にトラック輸送していた小口貨物をコンテナにまとめて運ぶことが考えられる。

A. 福島県郡山地区において、商工会議所の働きかけにより、郡山の日本通運が中心となり設置を目指したが需要がないとのことで、進んでいない。

④ 優位性(貨物が他の港に流れていないか?)

小名浜港を利用している企業はどのような点が優位であると考えているのか? また、利用していない企業の理由は?

福島県で生産された貨物の58%は横浜港、30%は東京港で船積み、福島県で消費された貨物の53%は東京港、25%横浜港で船卸しで、小名浜港で船積みされた貨物はすべて福島県で生産され、小名浜港で船

卸しされた貨物の89%は福島県、9%は茨城県、2%は栃木県で消費されている。

⑤ 運用(コンテナが運用できる設備はあるか?)

コンテナを取り扱うにあたっては、コンテナ・ヤード、コンテナ・フレート・ステーションなどの施設や、ガントリー・クレーン、トランスファー・クレーンなどの荷役機械が必要になる。それらの施設や機械は十分にそろっているのか?

⑥ 時間(通関や海上輸送を含めた総所要時間は?)

出発地から港湾、港湾での作業(通関や荷役)、海上輸送、港湾から到着地までの総所要時間は短縮できているのか?

A. サービス体制が悪い。通関に時間がかかる。船便が少ないコストが高い。使い勝手が悪い。沖待ちの時間が長い。

震災後、石炭の需要が多くなりコンテナをなるべく取扱いたくない等の力がはたらいているのでは。

⑦ 制度(どのような制度があるのか?)

港湾を活性化させるためには、どのような制度があるのか? 小名浜港に適用できるのか?

自由港の定義…輸出入貨物に対して関税が賦課されない開港。開港とは国境を越えて船舶の出入の自由な港。

自由港市(香港、シンガポール)、

自由港区(ハンブルグ、コペンハーゲン、ロッテルダム、グダニスク)

自由地区(ニューヨーク、ニューオリンズ、サンフランシスコ)

自由貿易地域沖縄地区

沖縄振興開発措置法に規定する関税法上の指定保税地域→香港、シンガポールのような関税制度外となる自由港制度とは異なる。

流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律

■社会資本整備の進展と連携して、物流拠点施設の総合化と流通業務を促進することによって、物流改革の推進、環境負荷の低減、地域の活性化を図る。

A. 区域を小名浜港周辺に限らず、いわき市全体に範囲を広げれば。今後、FAZとTPPの関係は

⑧ 政策(国と地元の考えが一致しているか?)

全国には、5の国際戦略港湾、18の国際拠点港湾、102の重要港湾がある。

福島県…重要港湾2港(小名浜、相馬)

地方港湾5港(江名、久之浜、中之作、翁島、湖南。久之浜は避難港)

小名浜港

国際バルク戦略港湾に選定(平成23年5月)

特定貨物輸入拠点港湾指定(平成25年12月)

A. 現状の石炭の積み出し港でよいのだろうか。

特定の産業しか関わりがない。

背後に工場地を控えている小名浜港としての役割を担っているのが国際バルク戦略港湾の指定はよかったが、物流港としての役割がない。その一つがコンテナ輸送である。

多用化した港に育てていかなければならない。

⑨ 利便性(コンテナ定期航路の便数が多いか?)

海外への定期航路が少ない場合、港湾の魅力は低くなると考えられる。

小名浜港の外貿コンテナ定期航路は2航路(韓国と中国)、東京港や横浜港は70便/週以上。欧米や北米も含む。

皆さんより小名浜港の現状をお聞きすることができ大変参考になりました。ありがとうございました。

1月グループ会報告

関税特区研究グループ会

■日 時 1月22日(木曜日)19:00~

■場 所 建設会館

1月度の通常例会は第1グループ会関連例会としてグループ長・副グループ長が参加し運営関連について支援を行った。

(1) 運営支援

会場設営・映像関連の対応
(講師PC操作関連対応)

(2) 講演について

芳賀グループ長からの第1グループ会運営に関連した質問の実施

(3) その他

参加メンバーの質疑応答等により小名浜港の現状についてより具体的な問題点や課題が話され理解を深めることができた。

スポーツ交流グループ会

■日 時 1月22日(木曜日)15:00~

■場 所 両国国技館

「大相撲観戦」

資質向上研究グループ会

■日 時 1月28日(水曜日)18:30~

■場 所 グリル・パル・Ben

2月、3月の例会日程、内容の打ち合わせ及び新年会

グループ会案内

■ 関税特区研究グループ
2月26日(木) 18:00~

建設会館
いわき市役所商工観光部より
「小名浜港について」

■ スポーツ交流グループ
2月19日(木) 18:00~
プランズウィック スポーツ平
ボート大会

■ 資質向上グループ
2月21日(土) 8:00~ 検討中

FMいわき「いわき経済同友会だより」

【2月予定放送】

- ・2月2日 第2グループ 若松佐代子様
- ・2月9日 第3グループ 松尾 幸治様
- ・2月16日 第4グループ 吉田 嘉徳様
- ・2月23日 情報委員会 小野 英典様

◇毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

■ 賀詞交歓会

2015.1.7 19:00～ 雨情の宿 新つた



2月公開講演会・通常例会 日時／2月23日(月)

会場/いわきワシントンホテル 椿山荘

例会18:30 講演会19:00 懇親会20:30

講師 いわき市長 清水 敏男氏

今回の例会は30分早く始まりますので、ご注意下さい

テーマ「震災復旧そして真の復興」

(会費:5,000円)

3月まとめ例会 日時／3月10日(火)

会場/(株)八幡台 やまたまや 例会 19:00 懇親会19:40

※ 準備の都合上、出欠は3月3日(火)までにFAX・メールにてご連絡を

(会費:6,000円)

お願い致します。尚、当日急用にて欠席される方の会費を後日ご請求させていただきます。

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
http://www.seaiwaki.jp
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 小野英典
副委員長/坂本和久・田村慎太郎・馬場学
山崎勇一郎